

ソフオニア預言書

ソフオニアは、ヘブレオ語ではゼパニアというが、ヨシア王の時代（西紀前六三八年—六〇八年）世に在つて活動した人で、その使命は、まずイエルサレムに、次いでユダを偶像礼拝の邪道に導いた諸民に、天罰を告げるにあつた。

第一章

種々の大罪ゆえに嚴罰ユダの国に下るべしとの予言

一 アモンの子なるユダ王ヨシアの代に方りて、エゼキアの子なるアマリアの子ゴドリヤ、そのまた子なるクシの子ソフオニアに下りし主の御言。二 我一切の物を集め集めて、地の面より除き去らん、と主云い給う。三 我人と畜とを集め、空の鳥と海の魚とを集めん。四 其の時天主を蔑する者等は滅亡にあうべし。我人々を地の面より亡ぼし去らん、と主云い給う。四 我ユダとイエルサレムに住めるすべての者との上に、わが手を伸べん。かくて我がこの処²⁾より亡ぼし去らんとするは、バ

第一章 1) 動物は人間のために造られたものであるから、人間とその祝福や呪いを共にする。——2) 偶像の祭祀で瀆されたイエルサレム。

五 ールの遺れる者、宮守等と、司祭等³⁾との名、家の蓋の上にて⁴⁾天の軍勢⁵⁾を拜む者、主を拜み主によりて誓いながら、またメルコム⁶⁾によりても誓う者、^六主の背後に従うことをやめて離れ去る者、及び主を求めず探ねざる者なり。^七主なる天主の御面前に黙せよ、そは主の日⁷⁾近きに由り、主生贄⁸⁾を用意し、その招き給える者を聖別し給いたればなり。^八しかしてかくなるべし、主の犠牲の日には、我、諸侯、王の子等、及び異邦の衣服を着たる者を罰せん。^九その日には、我、凡て傲りて¹⁰⁾敷居を踏み越え入り来る者、己が天主なる主の家に不義と欺瞞とを満たす者を罰すべし。^{一〇}主云い給う、その日、魚門¹¹⁾よりは叫号の声、第二門よりは悲嘆の声、丘々よりは大なる破壊の音起らん。^{一一}摺鉢谷¹²⁾に住める者よ、

³⁾アーロンの子孫で聖殿に偶像を安置礼拝する時これに関係した司祭たち。—⁴⁾屋根の上に、評議や祈禱に用いる一室がよくあつたもので、かれらはそこに祭壇を築いた。—⁵⁾多くの人に神として崇められた星。—⁶⁾アンモン人の主要な偶像。—⁷⁾天罰。—⁸⁾ご正義のために。—⁹⁾彼らは神政に反対する精神をすでにその服装によつて表わした。—¹⁰⁾ヘブレオ語本「こおどりしつつ」。即ちフィリスト人がダゴンの宮に入る時したようにして入る。—¹¹⁾市の北部にある。カルデア人はこの門から市内に侵入したのである。—¹²⁾西にあるアクラ丘と東にあるベゼタ丘およびモリア丘との間にある谷。

働なげき哭なげべ。カナアンの民¹³⁾は皆みな齊ひとしく黙もくし、銀しろがねに包つつまれたる者ものは悉ことごとく絶たえたり。二三その時には、我われ燈とも火しびを携たずえてイエルサレムを探さぐ査ぐり、渣おりの上うえに住すみ馴なれて¹⁴⁾心こころの中うちに「主しゆは福さいわいをも下くだし給たまわらず、禍わざわいをも下くだし給たまわじ」と云いう者ものを罰ばつすることあるべし。二三彼等かれらの財さい産さんは奪うばわれ、彼等かれらの家いえは荒あれ果はてん。彼等かれら家いえを建たつとも之これに住すむことなく、葡ぶ萄どう酒しゆを飲のむことなかるべし。¹⁵⁾一四主しゆの大おおいなる日ひは近ちかきにあり、その近ちかづくや、甚はなはだ速はやし。主しゆの日ひの聲こゑは苛か烈れつなり。その時ときには勇ゆう士しも悩なやまさるべし。一五その日ひ¹⁶⁾は忿いかり怒ひの日ひ、患かん難なん苦く惱のうの日ひ、災さい厄やく困こん窮きゆうの日ひ¹⁷⁾、暗あん黒こく晦かい冥めいの日ひ、密みつ雲うん旋せん風ふうの日ひ、一六城まち市ちを攻せめ、高たかき櫓やぐらを攻せむる喇ラッパ叭との聲こゑとの聞きこゆる日ひなり。一七我われ人ひと々びとを困くるしめて盲めしい人ひとの如ごとく迷まよい歩あるかしめん、是これ、彼等かれら主しゆに對たいして罪つみを犯おかしたればなり。彼等かれらの血ちは土つち埃ほりの如ごとく流ながされ、彼等かれらの体からだは糞ふん土どの如ごとく¹⁸⁾捨すてらるべし。一八主しゆの忿いかり怒ひの日ひには、彼等かれらの銀ぎんも金きんも彼等かれらを救すくう能あたわざらん。全ぜん地ちはその熱あつき火ひに焼やき尽つくさるべし。実げに

13) この語はこゝでは「町人根性の民族」の意。

14) 罪惡に凝り固まつて。耶四八

・一一参照。

15) 歴五・一一。

申二八・三九参

照。一六) 死者ミ

サの続唱の初め

はここから採つ

てある。一七) 赦

禱式の聖歌を参

照。一八) うやうや

しく葬られる名

譽を受けずに。

主は地に住める者を悉く、速に絶滅し給わん。

第二章

痛悔のすすめ—ファイリスト人、モアブ人、アンモン人、エチオピア人、及びアツシリア人に対する天罰の予言

一 愛するに足らざる国民よ、汝等寄り集まれ。二 定めりによりて埃の如

く来り過ぐる日が未だ至らざる内、主の激しき御忿怒が汝等に臨まざる

内、主の御憤恨の日が汝等を訪れざる内に、然せよ。三 汝等主を求めよ、

その御掟を履行いたる柔和なるの者よ、正義を求め、柔和を求

めよ、さらば汝等或は主の御憤恨の日に、如何にかして隠さるることあ

らんか。四 それ、ガザは滅ぼされ、アスカロンは荒れ廃れ、アゾトは白昼

に人々の逐い出す所となり、アツカロンは根より抜き取らるべし。五 海辺

の地³⁾に住める者よ、滅亡の民よ、⁴⁾ 汝等は禍なるかな。ファイリスト人の

国カナアンよ、主の御言は汝等を責む。我、住む者の一人もなきまでに、

第二章 1) 天主

の。—2) 粗暴で

無法な人々と反

対。—3) ヴルガ

タ原語 fuhichu—

Ius「ひも」。長

くのびているが

幅が狭いから。

4) 七十人訳は

「クレタの民に

属する者よ」。

古い言い伝えに

七六

汝を滅ぼさん。六海辺は牧者等の休憩場となり、羊の檻となるべし。七そ

はユダの家の遺れる者⁵⁾の繩張とならん、彼等そこに牧場を獲、日暮れ

ては、アスカロンの家に憩わん、是、主彼等の天主、彼等を眷顧み、そ

の俘囚人等を返し給うべければなり。八我はモアブの侮辱とアンモンの

子等の冒瀆とを聞けり、彼等はかくしてわが民を辱しめ、その領土を見

くびりしなり。九故に万軍の主、イスラエルの天主、云い給う、我は活

く、モアブはソドマの如く、アンモンの子等はゴモラの如くなり、茨の

枯原となり、塩堆となり、荒野となりて永久に至らん。わが民の遺れる

者彼等を掠め、わが国民の余れる者彼等を所有すべし。一〇彼等にかかる

事の起らんとするは、その驕慢の為にして、彼等が万軍の主の民を罵り

見くびりたるに由るなり。二主は彼等に対しては畏るべき者となり、地

の神々を悉く滅ぼし給わん、かくて人々各々その処より出で来り、異邦

人のすべての島々も、彼を礼拝するに至るべし。6) 一三エチオピア人よ、7)

よれば、ファイリ

スト人はクレタ

島から移住して

来たから。

5) 流謫後の。

6) この予言はマ

カベオ時代に一

部成就する。全

く成就するのは

メシアの時代。

7) この名にはエ

ジプト人も含ま

れている。それ

は両方の民が当

時一つになつて

エチオピアとい

う王朝に支配さ

れていたから。

二三 汝等もまたわが剣に殺されん。一三 彼なお御手を北に伸べてアツ
 スルを亡ぼし、眺望美き町⁸⁾を寂れし処、道なき処となし、荒野
 の如くなし給うべし。一四 家畜の群、異邦人の獣も悉く、その只
 中に臥し、梟及び⁹⁾ 鴞、その敷居に宿らん。窓に嘯る声し、⁹⁾ 鴉鴨
 居に留る、実に我その力を失わしむべし。一五 是は安んじて住み、
 その心の中に「ただ我あるのみ、我の外に何者もなし」と謂い
 し榮華の町なれど、その、獣の臥処なる荒野となりしこの状はい
 かにぞや。此を過ぐる者はいずれも皆、吐息して手を振るべし。

第三章

イエルサレムに対する審判—その回復とメシア時代の幸福

二一 震怒を招きたるに、贖われたる町、鳩¹⁾は、禍なるかな。ニそ
 は声²⁾を聴かず、教訓を承けず、主を頼まず、その天主に近づ
 かざりき。三 其の諸侯はその中にありて咆ゆる獅子の如く、士

8) ニニヴェ。
 9) 廢墟に鳥が巢くうてい
 るので。

第三章 1) イエルサレムを
 ます。迷い易い性質なの
 で。 2) 天主とその遣わし
 給うた予言者たちとの。

四 師等は暮時の狼³⁾の如くにして、翌朝の爲に何をも遺し置かざりき。四その
 預言者等は⁴⁾信実なき愚なる人々にして、その司祭等は聖所を流し、律
 法に背きて不正を行いたり。五義しき主はその中央に在す。彼は不義をな
 し給わじ。朝な朝な⁵⁾その公義を顯し給えば、そは隠れなからん。然るに
 不義なる者は恥を知らざるなり。六我諸国民を亡ぼしたれば、その槽崩れ
 たり。我彼等の街路を荒れ果てしめたれば、通る者なし。その町々は寂れ
 て、人の遺れる者なく、誰も住む者なきに至れり。七我云いしことあり、
 汝ひたすら我を畏れ、訓誡を承くべし。さらばその住居は、我が罰せんと
 て下したる諸々の災禍にも亡ぶることなかるべし、と。然るに彼等は朝よ
 りそのすべての思念を汚せり。八主云い給う、この故に来るべきわが起上
 らんとする日に我を待て。それ、わが決意は諸々の民を集め、諸々の国を
 集えて、之にわが憤、わが激しき怒を悉く注ぐにあり。実に全地はわ
 が熱き火に焼き尽さるべし。九かくて後、我諸民に潔き唇を与うべけれ

3) 哈一・八参
 照。——彼ら
 が聴く偽預言
 者ら。——5) ヴ
 ルガタ原語
 mane mane
 即ち絶えず。
 6) 偶像神々呼
 ぶことでもは
 や汚されない

一〇 ば、^カ彼等みな主の御名を呼び、^カ肩をならべて之に事えん。一〇。エチオピアの河川の彼方よりも我に祈願う者、わが打ち散らしたる人々の子等、我に^レ禮物を持ち来るべし。二その日には汝我に背かんとて行いたる諸々の業ゆえに恥ずることなからん、そは我汝の中より、誇り高ぶる者を除き去るべければ、汝のわが聖なる山によりて思いあがること、最早あるまじきが故なり。二三我汝の中に、貧しく乏しき^タ民を遺さん、彼等は主の御名に依頼むべし。二三イスラエルの残存者^ノは不義を行わず、虚偽を云わじ、またその口には他を欺く舌なかるべし。実に彼等は草喰みて臥さんに、誰も之を恐れしむる者なからん。一四娘シオンよ、讚め称えよ、イスラエルよ、歡び叫べ。娘イエルサレムよ、心ゆくまで楽しみ躍れ。一五主は汝の判決を撤回し、汝の敵を斥け給えり。イスラエルの王たる主は汝の中央に在す。汝には最早災厄の懼あらざるべし。一六その日にはイエルサレムに向かいて「懼るるなかれ」シオンに向かいて「汝の手萎ゆべからず」と云われん。

7) メシアの御国の時代を望み見て。

8) ヘブレオ語

本「謙遜にして小さき民」。

マテオ一一・

二五参照。

9) 流寓によつ

て淨化された

イスラエル人

更にはキリス

トの救いによ

り選ばれた人

々。

一七 汝なんじの中うちに在います主しゆ汝なんじの天てん主しゆは強つよし、彼かれは救すくい、汝なんじのためために喜よろこび樂たのし

一八 み、愛あい極きわまりて黙もくし、汝なんじのこことを讚たたえ躍おどり給たまうべし。一八 律りつ法ぽうを棄すて

去さりたる愚おろかなる者もの10)も、汝なんじより出いでたるが故ゆゑに、我われ之これをあつ集あつめん。そ

一九 は最も早はや汝なんじが彼かれ等らの為ために恥はじを蒙こうむることなからんためなり。一九 視みよ、そ

の時ときには我われ汝なんじを苦くるしめたる者ものを悉ことごとく殺ころし、跛あしな者えを救すくい、逐おい出いだされ

二〇 たる者ものをあつ集あつめ、彼かれ等らをその辱はづかしめられしすべべての国くににおおいて、讚たたえ

られ名なをうたゑうたわわるる者ものとなさん。三〇そは、我われが汝なんじ等らを導ひき来きたらんとす

るその時とき、我われが汝なんじ等らをあつ集あつめんとするその時ときなり。実げに我われ、汝なんじ等らの目め

の前まえにおおいて、汝なんじ等らの囚とらわれびとららを返かえしたらんあ曉かつには、汝なんじ等らを地ちの万ばん民みん

の間うちにて、名なをうたゑうたわれ讚たたえらるる者ものとなすべし、11) と主しゆ云い給たまう。

10) ヘブレオ語本では祝祭ができなくなつて悲しんでいる人々

11) ソフオニアは、囚われからの解放と関

連してメシアの時代の有様を見る。前者

は後者の前表である